



**吉田家住宅**  
寛政4(1792)年に創業した藍商、吉田直兵衛の家。屋号を「佐直」と称し、脇町でも一、二を競った豪商であり、約600坪の敷地には江戸時代中期から後期にかけて建てられた主屋、質蔵、藍蔵など5棟が中庭を囲むように建っています。現在、市指定文化財として一般開放されており、建築様式の素晴らしさと往時の藍商の暮らしをご覧いただけます。  
■TEL:0883-53-0960(吉田家) / 0883-53-2333(藍蔵)  
■入場料(吉田家・脇町劇場):大人1人 500円 / 小人1人 250円

# 藍色の まほろばを あるく

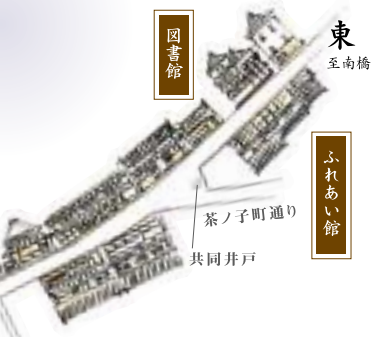
うだつの町並みから美馬市内の歴史散策へ

古い商家のたたずむ「うだつの町並み」、  
歴史情緒あふれる「寺町」など、  
美馬市には多彩な  
表情があって郷愁を誘います。



## 脇町クイズ①

どっちが新しい?  
競うように建ち並ぶ2つのうだつ。同じ年代で  
同じ高さに見えるけれど違いがわかるかな?また、  
江戸時代の建物でうだつが無い建物がある  
のはどうしてかな?



## 脇町クイズ②

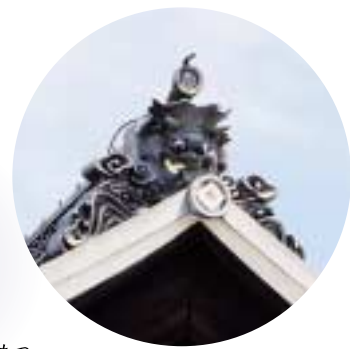
第十二世将棋名人小野五平が立会人を  
務めた伝説の名勝負は誰と誰が対局したの?  
明治時代に活躍した平田家出身の小野五平翁。  
将棋ファンなら誰でも知っている名勝負です。



脇町クイズの答えは  
観光文化資料館にあるよ

## 脇町クイズ③

鬼瓦の上にある鳥龕(とりぶすま)の役目は?  
火事除けの願いを込め、渦や波、舟の帆の装飾をもつ  
鳥龕。もうひとつ実用的で大事な役目を果たしています。



**吉田家住宅 離れ屋からのたたずまい**  
うだつの町並み通りから見た重厚さとは違った趣をもつ吉田家住宅。  
敷地はかつての吉野川の川湊から町並み通りまでおよび、裏庭を中心  
に主屋・質蔵・中蔵と配置された、藍商の代表的な屋敷構えを伝  
えています。



**美馬市観光文化資料館**  
明治時代の旧脇町税務署をモチーフに再現した資料館。町並  
みの歴史資料展示のほか総合観光案内所として町並み観光ボ  
ランティアガイドの受付やレンタサイクルの貸出を実施しています。  
■脇町大字脇町92 ■TEL:0883-53-8599  
■午前9時～午後5時(年末年始休)

藍でうだつをあげた町並み  
蜂 須賀家政が二五八五  
年阿波に入国した時、  
筆頭家老の稲田植元が脇  
城に入り、城下町として繁  
栄した美馬市脇町。阿波藩  
が奨励した藍づくりは、江  
戸時代から明治にかけての  
阿波の代表的な産業として  
広がり、交通の要衝と吉野  
川の水運に恵まれた脇町は  
藍の集散地として栄え、藍商  
・呉服商の商人が栄華を極  
めたものです。  
現在、うだつの町並みに  
建ち並んだ建造物は本瓦  
葺きの大屋根に、壁は厚い  
塗籠めで漆喰仕上げの重厚  
な造りと、当時の繁栄を物  
語る「うだつ」や虫籠窓、出  
格子、部戸を備えた建物が  
その当時の状態で今に残さ  
れています。



**あんみつ館 Map:E-2**

一般の見学者を対象にしたシンビジウムのショールーム兼直売所です。シンビジウムの開花最盛期(11月末～3月)には、まさしく百花繚乱。シンビジウムの女王「あんみつ姫」やシンビジウムの王様「マリローランサン」、「プリンセスマサコ」などの人気品種が甘い香りを漂わせ、お互いの艶姿を競い合っています。

- 脇町大字北庄551-2 ■ TEL:0120-53-1187
- 午前8時30分～午後5時(12/31、1/1休館)
- 駐車場:普通車100台(無料) 大型バス10台可



**旧長岡家住宅 Map:E-2**

享保20(1735)年に大滝山の中腹に建てられた茅葺屋根、横二間の間取りをした農家。江戸時代中期の農家の代表的建築といわれ、国の重要文化財に指定されています。

- 脇町大字猪尻字西上野34
- TEL: 0883-63-2177(美馬市教育委員会)
- 午前9時～午後5時(月曜日定休、12/28～1/4休館)
- うだつの町並みより徒歩10分



**藍色の  
まほろばを  
あるく**

古い商家のたたずむ「うだつの町並み」、歴史情緒あふれる「寺町」を、美馬市には多様な表情があらわに輝かれています。

うだつの町並みから  
美馬市内の歴史散策へ



**映画の舞台となった脇町劇場 Map:E-3**

- 脇町大字猪尻字西分140-1 ■ TEL:0883-52-3807
- 午前9時～午後4時30分(火曜日定休)
- 駐車場:普通車8台(無料)
- うだつの町並みより南橋を渡って北へ50m



**デ・レーケの堰堤 Map:E-2**

「川を治めるにはまず山を治めるべし」。我が国の近代砂防の祖と称されたオランダ人技術者ヨハネス・デ・レーケは、河川流域の森林伐採による土砂の流出によって水害が引き起こされると考えました。その理念を基に、この堰堤は明治20年頃に築かれ、その技術の確かさから大谷川の治水に今も大きく寄与しています。

- 脇町大字北庄字柴床91-3
- TEL:0883-63-2177(美馬市教育委員会)
- うだつの町並みより徒歩10分



松竹映画『虹をつかむ男』 主演:西田敏行、田中裕子(平成8年11月撮影)

大衆文化が息吹く劇場  
脇町劇場は、昭和9年に西洋モダン風の外観で、回り舞台、奈落などを備えた本格的な芝居小屋として建てられ、歌舞伎や浪曲の上演で人気を集めました。戦後、歌謡ショー公演や映画上映など娯楽の殿堂となりましたが、後に映画の斜陽化と建物の老朽化が重なり閉館。

山田洋次監督の「虹をつかむ男」のロケ舞台となったことがきっかけで平成11年に修復され、現在では芝居公演や映画上映のほか、市民の芸能文化の発表の場にかつては日本の至る所にあった大衆劇場には、人々が肩を寄せ合い、笑いに興じた想いが渦巻いています。映画や芝居の感動を共有した空間。現代に忘れられてしまった大事なものを、脇町劇場がその答えを教えてください。

\*散策コースガイドはP23をご覧ください。

うだつの町並みから  
美馬市内の歴史散策へ

# 藍色の まほろばを あるく

古い商家のたたずむ「うだつの町並み」、  
歴史情緒あふれる「寺町」など、  
美馬市には多彩な  
表情があつて郷愁を誘います。



**常念寺 Map:C-3**  
浄土真宗のお寺。「憩の苑」と呼ばれる広さ450坪もの庭園が山門前にあり、寺院全体に深い趣をそえています。  
■美馬町字宗重63 ■TEL: 0883-63-2125

## 歴史息づく「寺町」

美馬市の歴史をひもとくと、この地方が古くより文化の先進地であったことがうかがい知れます。古墳時代には県下で最大級の古墳がつくられ、奈良時代の白鳳期にはいち早く仏教が伝わり、地方では考えられない七堂伽藍の法起寺式大寺院が建立されました。また、美馬町には堂々たる山門、伽藍をもつ寺がいくつもあり、静寂にまつまれた「寺町」があります。遙か昔から、人々が安全で平穏な生活を、御仏に祈つて

きた悠久の時間が流れるまちです。

「寺町」にあるのは由緒ある古い寺ばかり。赤門で有名な「安楽寺」は、四国における最古、最有力の浄土真宗寺院であり、徳島県下で唯一能舞台を備えた寺としても知られています。また、奈良時代に創建された名刹「願勝寺」は、四国最古の枯山水の庭園があります。これら深い歴史をもつ寺院の麓が、緑の山を背にして波打ちます。その荘厳さにとりとりとした古都の趣を感じさせられます。

### 安楽寺の能舞台

平成8年に誕生した安楽寺の能舞台は、毎年、本格的な能や狂言が上演されています。美馬能楽の会も生まれ、多くの人が幽玄に満ちた能の世界を堪能しています。

### 寺町案内人

寺町を観光するときそれぞれの時間や希望に応じて、願勝寺や安楽寺などの4カ寺を中心に案内してくれるのが、地元ボランティアによる寺町案内人です。奈良や平安時代の歴史に耳を傾けるだけで、寺町の風景がさらに輝きをますます不思議です。1週間前に予約が必要です。

■お問い合わせ TEL: 0883-63-2015 (安楽寺)

### 西教寺 Map:C-3 (右)

藩政時代には、安楽寺と同等の格式をもった浄土真宗の大寺。飛鶴の松といわれる樹齢200年以上を数える松は必見の価値があります。寺宝には750年以上前に彫られた親鸞上人の像をはじめ、幕末維新志士の貴重な資料が伝わっています。

### 願勝寺 Map:C-3 (左)

奈良時代に建立された名刹の維摩寺を、平安時代に崇徳天皇に仕えた阿波内侍尼が改めたのが、願勝寺の始まり。本堂裏にある枯山水の庭園は、南北朝時代の築造とされる四国最古のもので、京都天龍寺の「岩組み」と同一手法です。



■美馬町字願勝寺8 ■TEL:0883-63-2118



■美馬町字宮西13 ■TEL: 0883-63-2067



うだつの町並みからの所要時間12分



### 安楽寺 Map:C-3

赤門と呼ばれる豪壮な朱塗りの重層門は、県下五大門のひとつ。能舞台を備える県内唯一の寺として名高い。古くから寺勢を拡張し、阿波・讃岐などの各地に寺院を創立し、四国における最古、最有力の浄土真宗寺院として栄えてきました。

■美馬町字宮西11 ■TEL: 0883-63-2015



### 林照寺 Map:C-3

室町時代末期に創建された浄土真宗のお寺。桃山様式唐門の脇には、四方に枝を伸ばしたイチョウの大木があり、晩秋には黄金色に染まり、本堂に映えて美しい景観を見せています。みごとに菊の花とともに庭を彩ることで有名です。

■美馬町字宮西17 ■TEL: 0883-63-2155



能舞台